



 CROSS PLUS

第63期報告書

2015年2月1日～2016年1月31日

本業回帰による収益改善

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃より、クロスプラス(株)をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。
ここに第63期(2015年2月1日～2016年1月31日)の報告書をお届けします。

アパレル業界の事業環境が厳しさを増す中、2014年4月の社長就任以降、創業時の経営哲学「在庫に始まり、在庫に終わる」のもと、本業回帰による収益基盤の確立に取り組んできました。アパレルの基本に立ち返った地道な施策が成果となって現われ、当期は収益改善に一定の手応えを得ることが出来ました。

主力の製造卸売事業では利益重視の仕組みの再構築として、仕入・販売管理の強化に努めた結果、在庫の回転率向上により粗利益が増加しました。また、苦戦が続いた(株)ヴェント・インターナショナルは事業譲渡の後、当期末で解散しました。これにより、連結決算は、4期ぶりに営業利益の黒字化を果たすとともに、当期純利益までを黒字にすることが出来ました。

次なる成長に向けては、当期に築いた収益基盤の土台をもとに、2017年1月期から2019年1月期までの3か年中期経営計画を策定しました。初年度にあたる来期は、引き続き利益重視の仕組み強化のもと、製造卸売事業の更なる収益基盤の安定と企業価値の向上を目指します。

わたしたちクロスプラスグループは、「夢と喜びあふれるファッションを提供し豊かな社会の創造に貢献する」という経営理念のもと、社名のとおり社員一人一人が個々の能力や個性を掛け合わせて、プラスアルファの価値をこれからも創り上げていきます。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 やまもと ひろのり 山本 大寛

株主の皆様へ	1	業績の推移	7
決算概況	2	会社概要・株式の状況	8
トピックス	3	株主優待制度のご紹介	9
事業グループ別の状況	5	株主メモ／	
連結財務諸表	6	HPのご紹介	10

2016年1月期の業績について

2016年1月期の連結業績は、売上高729億78百万円(前年比99%)、営業利益2億28百万円(前年同期は26億17百万円の営業損失)、当期純利益6億48百万円(前年同期は50億32百万円の当期純損失)となりました。

製造卸売グループでは、専門店向けへのトップスからボトムまでの売場トータルでの提案とPB販売が拡大したこと、量販店や無店舗向けへの機能素材を使った単品での商売を強化したことで、売上高が増加しました。利益面は仕入販売管理の強化を進めたことで、在庫の回転率が31.8回(前年比+9.6回)と向上し、粗利益率も17.3%(前年比+2.0%)と改善したことにより、粗利益が増加しました。加えて、外部出荷の内製化や中国での物流加工に取り組んだことによる物流費等の削減により、営業利益は大幅に改善しました。

SPAグループでは、(株)ヴェント・インターナショナルのリズリサ事業を譲渡した後、2016年1月31日をもって同社を解散しました。事業規模の縮小を進めたことにより、損失額は前期から縮小することが出来ました。

これらの結果により、連結決算は、前期の赤字から回復し、営業利益から当期純利益までの黒字化を達成しました。

なお、期末配当金につきましては、無配とさせていただきます。

2017年1月期施策について

基幹である製造卸売事業で、安定した収益基盤の更なる拡充に取り組みます。2017年1月期は次の4点に取り組みます。第1は専門店や百貨店向けの新規販路の拡大、第2は工場集約による生産基盤の再構築、第3は経営管理基盤の強化、第4は製造卸売事業の基盤強化をそれぞれ進めていきます。

売上については、順調に進んでいるトータル提案企画、素材提案を軸とした単品企画を広げ、大手専門チェーンへの販売を拡大します。粗利益については、引き続き、仕入・販売管理の徹底により在庫回転30回転を維持し、収益の底上げに努めます。また、経費は、前期実施した物流の外部出荷の内製化と、東京の拠点集約による賃借料の削減が年間を通じて寄与します。中期経営計画の初年度として、収益基盤をしっかりと固めるとともに着実な積み上げを図っていきます。

連結 2016年1月期実績

売上高 **729**億円 営業利益 **2.2**億円

製造卸売グループ

売上高 **651**億円 営業利益 **9.9**億円

SPAグループ

売上高 **79**億円 営業利益 **△7.8**億円

連結 2017年1月期通期計画

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
700億円	5億円	6億円	4億円

2017年1月期の施策

- ① 新規販路の拡大
- ② 生産基盤の再構築
- ③ 経営管理基盤の強化
- ④ 製造卸売事業の基盤強化

中期経営計画への取り組み

製造卸売事業の安定した収益基盤の確立の為に、3つの基本方針を実行し、3年後にグループとして売上高800億円、営業利益20億円を目標とします。

1 新規販路の拡大

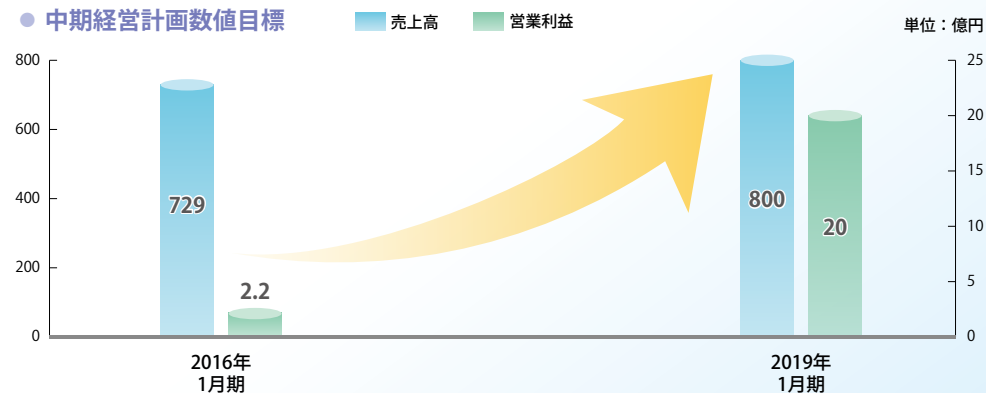
- (1) 新規専門店・百貨店向け売上の拡大

2 生産基盤の再構築

- (1) 工場集約による効率的な生産体制の確立
- (2) 素材集約によるコストダウン

3 経営管理基盤の強化

- (1) 業務の標準化と情報の見える化
- (2) 経営管理の高度化



新規販路へ向けたグループ合同展示会

2016年2月に、2回目となるグループ合同展示会を開催し、新たな顧客開拓をスタートしています。

更なる取組強化のため「マーケット開発部」を新設し、スタイリンク(株)の企画力、提案力とクロスプラス(株)の生産力を掛け合わせ、グループ全体の相乗効果を出していきます。3年後に新規販路で100億円の売上増加を目指します。



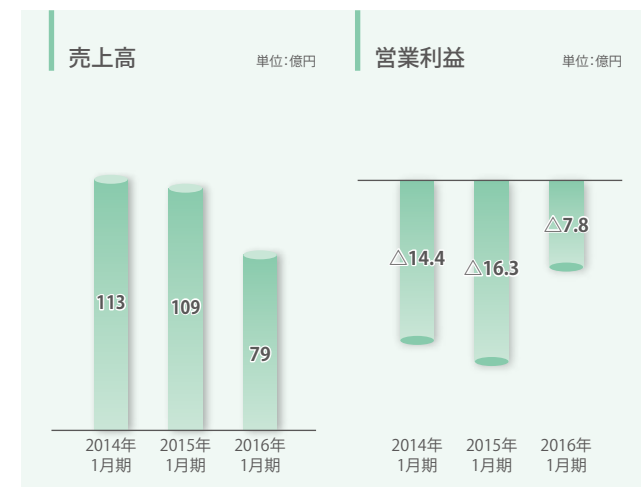
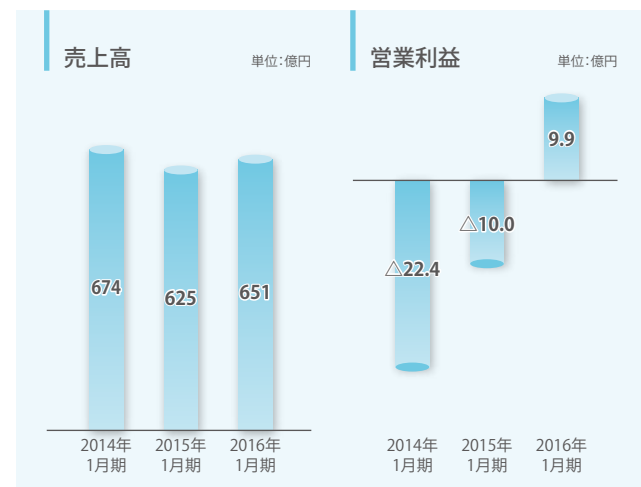
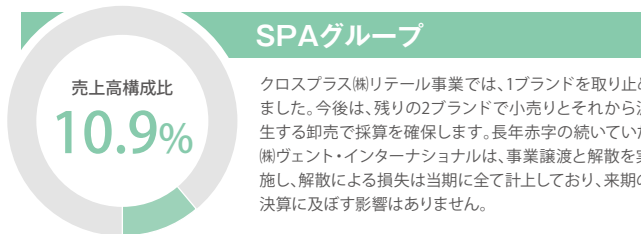
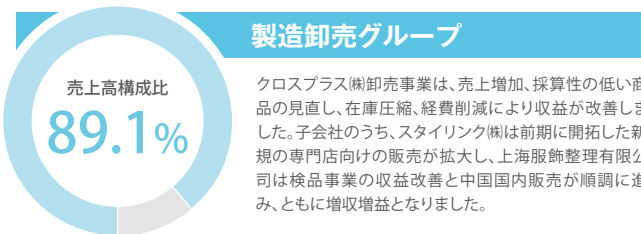
生産集約に着手

新設しました「生産コントロール部」によって“工場見える化”を進め、共通工場、共通素材の活用を全社で取り組みます。

主力工場に生産集約を図り、品質や納期に関わる管理を強化していくことで、品質向上に努めます。



事業グループ別の状況



単位:百万円

【連結】2016年1月期 グループ会社別実績	売上高			営業利益		
	前年	実績	前年比	前年	実績	増減額
クロスプラス(株)卸売	59,444	61,526	104%	Δ933	913	+1,846
スタイリンク(株)	2,677	3,000	112%	Δ79	58	+138
上海服飾整理有限公司	463	671	145%	3	21	+18
製造卸売グループ計	62,585	65,198	104%	Δ1,009	994	+2,003
クロスプラス(株)リテール事業	5,415	5,495	101%	Δ169	Δ186	Δ16
(株)ヴェント・インターナショナル	5,534	2,453	44%	Δ1,469	Δ597	+871
SPAグループ計	10,950	7,948	73%	Δ1,638	Δ783	+855
連結調整	Δ101	Δ168	—	30	17	Δ13
連結	73,434	72,978	99%	Δ2,617	228	+2,845

連結財務諸表

連結貸借対照表 単位:百万円

科目	前期 (2015年1月31日)	当期 (2016年1月31日)
(資産の部)		
流動資産	23,400	24,462
固定資産	10,072	8,977
資産合計	33,472	33,439
(負債の部)		
流動負債	19,093	20,097
固定負債	3,908	3,353
負債合計	23,001	23,450
(純資産の部)		
株主資本	8,328	8,940
その他の包括利益累計額合計	2,143	1,049
純資産合計	10,471	9,989
負債純資産合計	33,472	33,439

連結損益計算書 単位:百万円

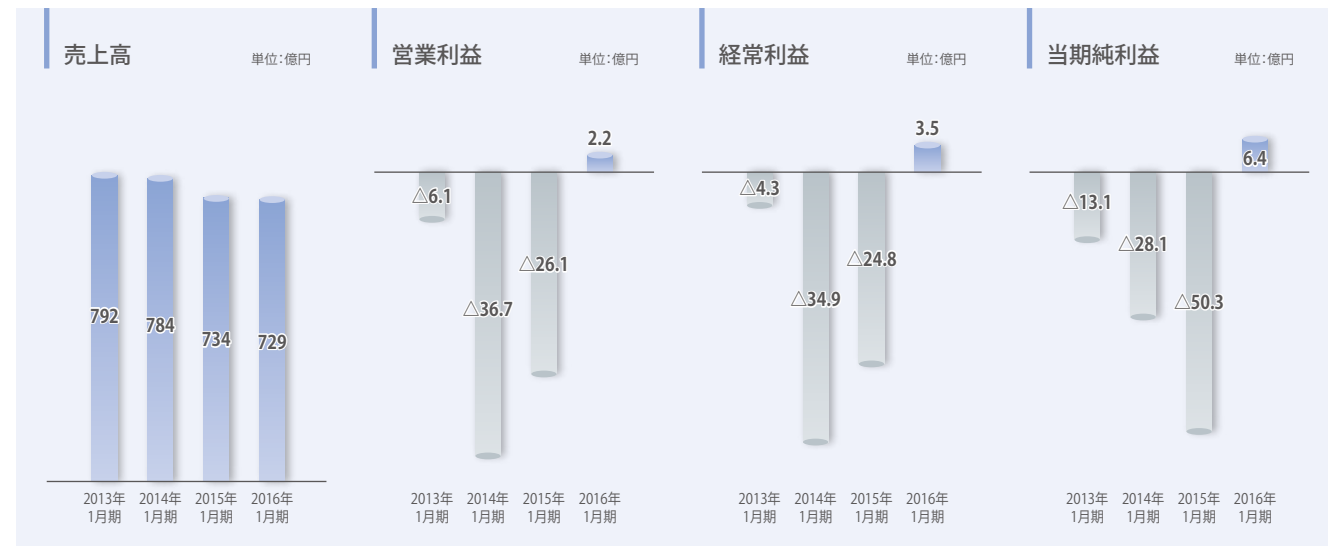
科目	前期 (2015年2月1日～ 2015年1月31日)	当期 (2015年2月1日～ 2016年1月31日)
売上高	73,434	72,978
売上総利益 (返品調整引当金繰入額計上後)	14,435	14,822
販売費及び一般管理費	17,052	14,594
営業利益又は営業損失 (Δ)	Δ 2,617	228
営業外収益	240	211
営業外費用	103	88
経常利益又は経常損失 (Δ)	Δ 2,480	351
特別利益	—	907
特別損失	971	516
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (Δ)	Δ 3,452	742
法人税等合計	1,580	93
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失 (Δ)	Δ 5,032	648
当期純利益又は当期純損失 (Δ)	Δ 5,032	648

連結キャッシュ・フロー計算書 単位:百万円

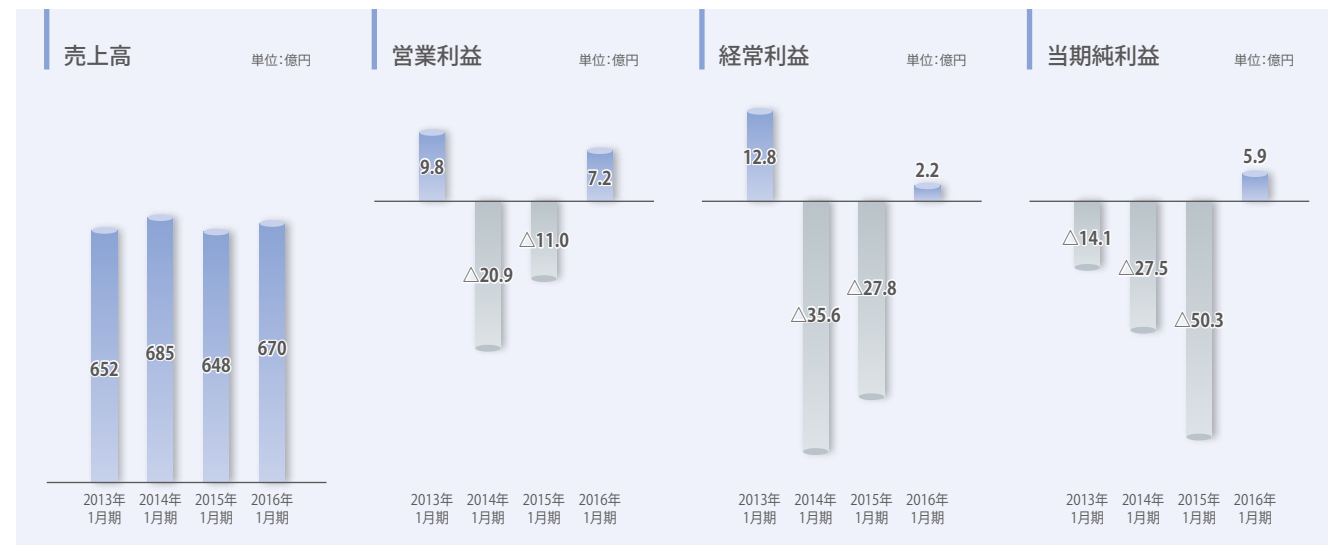
科目	前期 (2015年2月1日～ 2015年1月31日)	当期 (2015年2月1日～ 2016年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	Δ2,688	1,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	38	1,597
財務活動によるキャッシュ・フロー	923	Δ737
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	Δ14
現金及び現金同等物の増減額 (Δは減少)	Δ1,682	2,841
現金及び現金同等物の期首残高	4,256	2,573
現金及び現金同等物の期末残高	2,573	5,415

業績の推移

連結



単体



会社概要・株式の状況

会社概要 (2016年1月31日現在)

事業内容 婦人、女兒向けアウターウェア全般を企画製造し、量販店、専門店等への卸売及び百貨店等での小売

創業 1951年8月

設立 1953年4月

資本金 1,944百万円

代表者 代表取締役社長 山本大寛

従業員数 709名(連結)、651名(単体)

事業所 本社：名古屋市西区花の木3-9-13
東京支店：東京都中央区日本橋浜町3-3-2
物流センター：中部、CP流通
海外事務所：バンコク

グループ会社 スタイリンク(株)：東京都
VENT HONG KONG LIMITED：香港
客楽思普勒斯(上海)服飾整理有限公司：
検品センター(上海、青島、烟台、南通)

役員の状況 (2016年4月27日現在)

代表取締役社長 山本大寛

取締役会長 森文夫

取締役副会長 辻村隆幸

常務取締役 北出哲男 虫鹿宏

社外取締役 大爺正博 小林英三

常勤監査役 曾我孝行

監査役 中野正道

社外監査役 松島博 川合正

常務執行役員 鈴木英司

執行役員 西垣正孝 西尾祐己 大口浩和
丸尾裕之 柳瀬努

株式の状況 (2016年1月31日現在)

会社が発行する株式の総数..... 31,600,000 株

期末発行済株式総数..... 7,718,800 株

期末株主総数..... 9,493 名

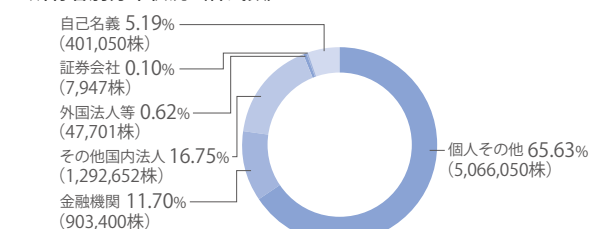
期末単元株主数..... 9,173 名

大株主

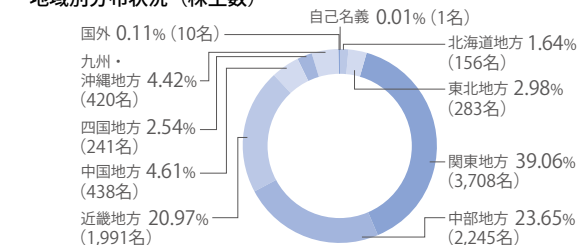
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
辻村 隆幸	593,650	7.69%
クロスプラス社員持株会	402,460	5.21%
田村駒株式会社	238,400	3.08%
森 文夫	221,430	2.86%
株式会社ヤギ	218,600	2.83%
株式会社三菱東京UFJ銀行	206,000	2.66%
辻村 幸子	178,850	2.31%
CP共栄会	174,500	2.26%
株式会社みずほ銀行	167,300	2.16%
有限会社シービーモア	166,150	2.15%

※当社は自己株式401,050株(持株比率5.19%)を保有しております。

所有者別分布状況(株式数)



地域別分布状況(株主数)



株主優待制度のご紹介

毎年1月31日（決算期）現在の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様に対して、「クロスプラスグループの選定商品」と「クロスプラスオンラインショップのクーポン券」のいずれかをお選びいただき、ご所有株式数に応じて次のとおり贈呈いたします。

ご所有株式数	選択制		
	当社グループ 選定商品の場合	クーポン券の 場合	
100株以上 500株未満	小売価格 3,000円相当	3,000円	3,000円
500株以上 1,000株未満	小売価格 5,000円相当	5,000円	5,000円
1,000株以上	小売価格 10,000円相当	10,000円	10,000円

特別優待

上記の他に、抽選で株主様に30万円相当の海外旅行（旅行券）を贈呈いたします。年1回定時株主総会の終了後に、総会会場にて抽選会を実施し決定いたします。

抽選の対象となる株主様

- ①毎年1月31日現在の株主名簿に記載された100株以上を保有する株主様
- ②直近の期末株主名簿から100株以上を3年以上継続して保有（期末・中間株主名簿に同一の株主番号で連続7回以上記載）の株主様

当選数

- ①の株主様の中から10名様
- ②の株主様の中から2名様
（ただし、①と重複当選の場合は無効といたします）

オンラインショップ



クロスプラス
オンライン
ショップ

<http://www.crossplus.jp/>



ATSURO
TAYAMA

<http://www.at-atsurotayama.com/>



JUNKO
SHIMADA

<http://www.junkoshimada.jp/>



株主メモ

決算期 毎年1月31日
 定時株主総会 毎年4月開催
 基準日 ・定時株主総会 1月31日
 ・期末配当金 1月31日
 ・中間配当金 7月31日

単元株式数 100株
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部
 名古屋証券取引所市場第二部

公告の方法 公告はホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によってホームページに掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 電子公告掲載URL <http://www.crossplus.co.jp/>

株主名簿管理人及び
 特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話照会先 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■配当金計算書について

配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。
 ＊確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

HPのご紹介

当社グループホームページでは、IR情報や決算情報をはじめ、当社をよりよくご理解いただくための情報がご覧いただけます。



<http://www.crossplus.co.jp/>



CROSS PLUS

クロスプラス株式会社

〒451-8560 名古屋市西区花の木3-9-13

TEL 052-532-2211(代)

<http://www.crossplus.co.jp/>